

令和4年度

指導班だより



R4. 8. 29

宮城県大河原教育事務所 指導班

指導班だよりとして、大河原管内の各学校の魅力ある学校づくりや学力向上に関する取組等を紹介いたします。今回は、魅力ある行きたくなる学校づくりの紹介と全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた学力向上に向けて取り組んでいただきたいことを提案いたします。

児童生徒にとって行きたくなる学校を目指して！

宮城県教育委員会では、令和元年度から、新規不登校を抑制する取組としてみやぎ「行きたくなる学校づくり」推進事業をスタートさせております。当管内では、今年度村田町立村田第一中学校区と白石市立東中学校区で取り組んでいただいております。この事業は、不登校の未然防止の各学校の取組を児童生徒の視点で見直し、改善を図り、児童生徒にとって行きたくなる学校づくりを推進していくものです。これは、不登校だけでなく、いじめ問題にも対応できるものと言われています。

○対象：不登校児童生徒及び特別な配慮が必要な児童生徒以外の児童生徒

（新規不登校は、前年度不登校でなかった児童生徒から生まれるため）

○意識調査の実施：「ア：学校が楽しい イ：みんなで何かをするのは楽しい ウ：授業に主体的に取り組んでいる エ：授業がわかる」についての4検法によるアンケート（すべての児童生徒からメッセージ）

※ メッセージに対して、学年教員全員でこれまでの取組を点検し、今後の取組を見直し、実行する。意識調査は、3月、7月、12月、3月で、年度内は3回である。

村田町立村田第一中学校の実践例

【目標】

○学校生活全体を通して「居場所づくり」「絆づくり」を心がけ、温かい生活を送れる学校にする。

○主体性を持って学び続ける生徒の育成を目指す。

「イ みんなで何かをするのは楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を学年目標数値（中1：65%、中2：65%、中3：65%）以上にする。

「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」項目について、「当てはまる」の割合を学年目標数値（中1：40%、中2：50%、中3：40%）以上にする。

白石市立東中学校区（小4校，中1校）の実践例

【目標】

○学級を中心とした仲間づくり活動を通して、学級や学年への所属感を高めさせる。

○学習活動の中で、児童生徒が「学び合った」と実感できる場を増やし、協働的な学びを推進していく。

「ア 学校が楽しい」の項目について、「当てはまる」の割合を5ポイント以上上昇させる。

R4年3月結果（小6：67.4%、中1：34.9%、中2：35.9%）

※ 村田町教育委員会、白石市教育委員会では、7月下旬に令和4年度みやぎ「行きたくなる学校づくり」第1回推進委員会を開催し、3月と7月の意識調査の結果を比較して、居場所づくり、絆づくりの方策について協議し、今後の取組を確認したとのこと。

学力向上に向けて

令和4年度全国学力・学習状況調査結果（速報）が7月29日に公表されました（宮城県教育委員会義務教育課のホームページに掲載）。教科に関する調査の結果については、下の表のとおりですが、令和4年度は小学校国語・算数、中学校数学で全国平均正答率とのかい離が広がりました。結果の概要を確認しながら、今一度学力向上に向けた自校の取組を確認してみたいかがでしょうか。

○教科に関する調査結果

※Pはポイント

対象	教科	宮城県平均正答率%	全国平均正答率%	全国とのかい離 (P)
小学校	国語	62	66	-4 (-3)
	算数	58	63	-5 (-4)
	理科	60	63	-3 (-3)

対象	教科	宮城県平均正答率%	全国平均正答率%	全国とのかい離 (P)
中学校	国語	68	69	-1 (-2)
	数学	45	51	-6 (-5)
	理科	47	49	-2 (-2)

()は、昨年のP

<調査結果を踏まえた授業改善の手順>

- 1 調査結果の確認・分析・課題の把握（キーワード：全職員で）
 - ・全職員で結果を確認（問題も解く）し、自校の課題を把握する。
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現（キーワード：日々の授業で）
 - ・無回答への対応（根拠を持って、自分の考えを書く指導の徹底）
- 3 宿題・家庭学習の質的向上（キーワード：家庭とともに）
 - ・宿題，家庭学習を丁寧に指導

<参考>「学力向上マネジメント支援事業」の考え方を生かす

R レディネスを確認

P 自校での分析，課題の共有，学力向上対策の検討

D 学力向上対策の実践 日常的な授業改善

C 学力調査の実施

A 学力向上対策の軌道修正 （つまずきの解消）

R3 指定教育委員会
・白石市教育委員会
R4 指定教育委員会
・角田市教育委員会
・柴田町教育委員会

○宮城県検証改善委員会報告書

全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえ、明らかになった成果や課題をもとに、学校改善や授業改善等の方策が示されていますので、ぜひ参考にしてください。